

公民館学習会バスハイク



平山郁夫シルクロード美術館にて



第 688 号
発行人●豊丘村公民館 館長 原 国人
編集人●長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村
(6月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,357人
女 3,385人
総人口 6,742人
世帯数 2,148戸

「神之峰は知ってあったが、知久平に城が在った事は知らなんだ。」史跡めぐりに参加されたある年配者の感想である。

事ほど左様に私達の知識はあまり定かではない。ならば、近くからその歴史を見直そう、と今回公民館と史学会が共催で「竜東地域史跡巡り」を計画した。

戦国時代(一五五〇年頃)、甲斐の武田勢と知久の軍勢とは豊丘村の伴野河原(蛇川と壬生沢川の間に合戦があったと伝えられており知久氏と豊丘は深くかわりがあったわけである。

参加者三四名は、五月二〇日(日)朝八時半役場のマイクバスとワゴン車に分乗し「ゆめあるて」を出発、下久堅へ向かった。

下久堅からは歴史に詳しい知久一彦氏(下久堅在住)に案内をお願いし、伊那谷では屈指の大きさだったという知久平城址と御柱祭をやり、三種の神器が祀られているという知久平諏訪神社を見学、飯田市の有形文化財となっている旧瀧澤医院へ向かった。見事な大石垣の上に立つ明治の擬洋風建築は素晴らしい物であった。

続いて一行は神之峰城址へと足を伸ばし、頂上の城跡から、信濃の名族知久氏築城の歴史の彼方へ思いを馳せた。城址直下には旧神

竜東地域史跡巡りに参加して
長沢 古田 正剛

豊丘の地に居を移し三十九年、年齢も六十歳を超え、仕事以外で少し時間が持てる生活になり、地域の事を知らない自分に突然気付いた時、初めて史学会行事に思い切って参加したのが、二月の立正大学の先生、学生達の「三保時代の河野村」に関する講演会です。この時に学んだ事が、竜東史跡巡りに参加させて頂いたきっかけです。知久家に関係した江戸、明治時代の「竜東地域各村の生活や相互扶助の精神、知久家を中心とした地域の変遷」に興味を引かれ、タイミング良く竜東地域千五百年代の歴史に「歩いて、見て、聞いて、考えて」触れ合える史跡巡りのお仲間に加えて頂きました。

地元の歴史に大変造詣の深い知久一彦氏の歴史口マを強く感じさせる解説と分かりやすい語り口の数々が史跡巡りの随所で聞く事

ができました。知久平城から神之峰城への繋がり、武田軍との戦い、山本勘介の地団駄を踏んだジタジタ峠の由来、武田軍との供野(伴野)の合戦のお話、敗戦後の知久氏と神之峰城の変遷はまさに栄枯盛衰を現地で開きし歴史の醍醐味に触れたひと時でした。また昭和の悲しい歴史の一つとして神之峰頂上近くにある「満州開拓の碑」で直接、無事内地に戻られた方から当時の様子や「碑」設立から現在までの御苦労を伺い、胸の中に込み上げるものがあり歴史の事実として伝えて行かなければとの気持ちになりました。

知久氏、満蒙開拓、神之峰の歴史の事を深く知れたくなりました。お世話になった知久一彦さんには、お酒でも飲みながら、ゆっくりと歴史の話を聞けたらいいなと思う自分が帰りのバスの中にいました。

暑かったり寒かったりと、温度変化が激しかった四月、五月ですが、最近暑い日が続いており、いよいよ夏本番といった気候。気象庁によると、今夏は高気圧に覆われやすく、平年よりも暑くなる見通しだとのこと。暑くなると、心配になるのが熱中症です。私自身も高校時代、まだ五月下旬頃だったと思いますが、学校終わりに友人数人と遊びに出かけた際に、「暑い、暑い」と言っている間に汗を拭いていた一人の友人が、急に転んで起き上がれなくなっ

てしまい、その後痙攣を起すということがありました。その時はすぐに水分補給を行い、少しして普通に動けるようになったため、保護者の方が迎えに来て下さり大事には至りませんでした。ですが、実際さういった場面を目にした時、高校生ではありましたが、「とにかく水分を!」と思いつつソドリンクを飲ませてあげることしかできませんでした。本来なら救急車を呼ぶべき場面でしょう。

大人でさえ自分が熱中症になりかけていることに気付かず、毎年緊急搬送される方が大勢いるというのですから、子どもは余計に気を付けてあげなければなりません。

予防も勿論欠かせませんが、子どもたちには予防の声がけだけでなく、いざ体調が悪くなったら、周りや友達に倒れてしまったりなど、場面に合わせてどう行動すればいいのかわかるように教えてあげる機会が必要だと感じます。

(藤沢 明々香)

竜東地域史跡巡り記 小園 大澤 俊郎

参加者三四名は、五月二〇日(日)朝八時半役場のマイクバスとワゴン車に分乗し「ゆめあるて」を出発、下久堅へ向かった。

下久堅からは歴史に詳しい知久一彦氏(下久堅在住)に案内をお願いし、伊那谷では屈指の大きさだったという知久平城址と御柱祭をやり、三種の神器が祀られているという知久平諏訪神社を見学、飯田市の有形文化財となっている旧瀧澤医院へ向かった。見事な大石垣の上に立つ明治の擬洋風建築は素晴らしい物であった。

続いて一行は神之峰城址へと足を伸ばし、頂上の城跡から、信濃の名族知久氏築城の歴史の彼方へ思いを馳せた。城址直下には旧神

稲村開拓団が身を寄せた旧上久堅分村(満州開拓の碑)があり多くの犠牲者のご冥福をお祈りした。

昼食は「十三の里」にて手づくりの美味しい赤飯弁当をいただき、その後縄文時代の住居を復元した「北田遺跡」を車窓から見学、知久氏の菩提所玉川寺に参拝した。帰路は共用開始となった三遠南信道上久堅―龍江IC間を走り、天空にそびえる建設中の天龍峡大橋を見学、最後に知久氏創建の文永寺を参拝、国宝石室五輪塔を見学して午後三時半頃豊丘へ帰着した。

豊丘の地に居を移し三十九年、年齢も六十歳を超え、仕事以外で少し時間が持てる生活になり、地域の事を知らない自分に突然気付いた時、初めて史学会行事に思い切って参加したのが、二月の立正大学の先生、学生達の「三保時代の河野村」に関する講演会です。この時に学んだ事が、竜東史跡巡りに参加させて頂いたきっかけです。知久家に関係した江戸、明治時代の「竜東地域各村の生活や相互扶助の精神、知久家を中心とした地域の変遷」に興味を引かれ、タイミング良く竜東地域千五百年代の歴史に「歩いて、見て、聞いて、考えて」触れ合える史跡巡りのお仲間に加えて頂きました。

地元の歴史に大変造詣の深い知久一彦氏の歴史口マを強く感じさせる解説と分かりやすい語り口の数々が史跡巡りの随所で聞く事

ができました。知久平城から神之峰城への繋がり、武田軍との戦い、山本勘介の地団駄を踏んだジタジタ峠の由来、武田軍との供野(伴野)の合戦のお話、敗戦後の知久氏と神之峰城の変遷はまさに栄枯盛衰を現地で開きし歴史の醍醐味に触れたひと時でした。また昭和の悲しい歴史の一つとして神之峰頂上近くにある「満州開拓の碑」で直接、無事内地に戻られた方から当時の様子や「碑」設立から現在までの御苦労を伺い、胸の中に込み上げるものがあり歴史の事実として伝えて行かなければとの気持ちになりました。

知久氏、満蒙開拓、神之峰の歴史の事を深く知れたくなりました。お世話になった知久一彦さんには、お酒でも飲みながら、ゆっくりと歴史の話を聞けたらいいなと思う自分が帰りのバスの中にいました。

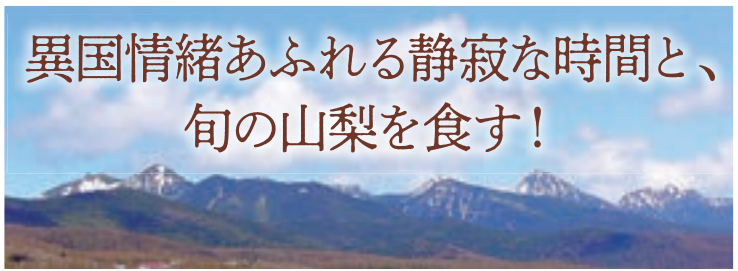
暑かったり寒かったりと、温度変化が激しかった四月、五月ですが、最近暑い日が続いており、いよいよ夏本番といった気候。気象庁によると、今夏は高気圧に覆われやすく、平年よりも暑くなる見通しだとのこと。暑くなると、心配になるのが熱中症です。私自身も高校時代、まだ五月下旬頃だったと思いますが、学校終わりに友人数人と遊びに出かけた際に、「暑い、暑い」と言っている間に汗を拭いていた一人の友人が、急に転んで起き上がれなくなっ

てしまい、その後痙攣を起すということがありました。その時はすぐに水分補給を行い、少しして普通に動けるようになったため、保護者の方が迎えに来て下さり大事には至りませんでした。ですが、実際さういった場面を目にした時、高校生ではありましたが、「とにかく水分を!」と思いつつソドリンクを飲ませてあげることしかできませんでした。本来なら救急車を呼ぶべき場面でしょう。

大人でさえ自分が熱中症になりかけていることに気付かず、毎年緊急搬送される方が大勢いるというのですから、子どもは余計に気を付けてあげなければなりません。

予防も勿論欠かせませんが、子どもたちには予防の声がけだけでなく、いざ体調が悪くなったら、周りや友達に倒れてしまったりなど、場面に合わせてどう行動すればいいのかわかるように教えてあげる機会が必要だと感じます。

(藤沢 明々香)



第二次公民館学習会は、ハケ岳方面へのバスハイクでした。梅雨真っ最中、おまけに台風の接近、「せめて午前中だけでも曇りでいて」と願いつつ、当日を迎えました。カッパや傘の荷物を置いて、青空と会員の皆さんのすばらしい笑顔と共に、山梨のいいところを満喫してきました。参加された方々のアンケートをいくつか紹介いたします。

「さくらんぼ狩り」

さくらんぼ狩りは初めてで、赤い実がキラキラ光って、とてもかわいくておいしかったです。たくさんいただきました。百個くらい食べたかも。園までが遠くて大変だった!

「平山郁夫シルクロード美術館」

異国の仏像を見るのは初めてでした。

シルクロードの絵は、とてもよかったです。被爆して後遺症で体調が悪い中、写生に訪れた奥入瀬渓流で「生きる喜びを心から教えてくれた」という奥入瀬の絵は、本当に素晴らしい絵でした。

「昼食」

暑い中、ほんとうも熱かったです。美味しかったです。コーヒーがとても美味しかったです。

「シャトレゼ白州工場」

暑かったので、アイスクリームは美味しかったです。三食食べました。



豊丘村を出て、いろいろなところを見学し、体験し、お話を聞き、頭もお腹もいっぱい楽しい旅となりました。(公民館事務局)

というように、今回は珍しく良く食べたバスハイクでした。

豊丘村を出て、いろいろなところを見学し、体験し、お話を聞き、頭もお腹もいっぱい楽しい旅となりました。(公民館事務局)

暑かったり寒かったりと、温度変化が激しかった四月、五月ですが、最近暑い日が続いており、いよいよ夏本番といった気候。気象庁によると、今夏は高気圧に覆われやすく、平年よりも暑くなる見通しだとのこと。暑くなると、心配になるのが熱中症です。私自身も高校時代、まだ五月下旬頃だったと思いますが、学校終わりに友人数人と遊びに出かけた際に、「暑い、暑い」と言っている間に汗を拭いていた一人の友人が、急に転んで起き上がれなくなっ

てしまい、その後痙攣を起すということがありました。その時はすぐに水分補給を行い、少しして普通に動けるようになったため、保護者の方が迎えに来て下さり大事には至りませんでした。ですが、実際さういった場面を目にした時、高校生ではありましたが、「とにかく水分を!」と思いつつソドリンクを飲ませてあげることしかできませんでした。本来なら救急車を呼ぶべき場面でしょう。

大人でさえ自分が熱中症になりかけていることに気付かず、毎年緊急搬送される方が大勢いるというのですから、子どもは余計に気を付けてあげなければなりません。

予防も勿論欠かせませんが、子どもたちには予防の声がけだけでなく、いざ体調が悪くなったら、周りや友達に倒れてしまったりなど、場面に合わせてどう行動すればいいのかわかるように教えてあげる機会が必要だと感じます。

(藤沢 明々香)

里山散策と アウトドアクッキング

林里一

原 幸治

五月十三日、里山散策とアウトドアクッキングに子供と参加させていたいただきました。

最初、参加申込したときは自分達しか申込が無く、本当に行われるか心配でしたが当日は三十人弱の参加者がいて、親子で参加される

方も二組いました。場所は松川町生田との境にある川、間沢川の散策に行き、山菜を採りました。

三時間ほど散策を行い、いままでは雑草として見ていた葉なども食すことが出来る事を知り、子供達も楽しく山菜を採ることができて、家族で楽しめました。



アウトドアクッキングでは雨も本降りになつてしまい、だんQハウス内にて参加者全員で、天ぷらやすまし汁、団子などを作りました。そして子供達には、よもぎ団子やおやき作りを手伝ってもらいました。いろんな料理ができ、おいしく頂くことが出来ました。これからもこのような行事があれば子供の成長のため参加したいと思っています。

林 原

北澤百合子

「これ美味しいよ」「えっどれ?」「スギナだよ」スギナ?どこにでもあつて

植物博士の堤久先生を迎えいざ滝川周辺へ。

わらび、よもぎの柔らかい部分を摘みアカツメクサ、ハルジオンの花の部分を探り、歩きながら、露の葉、スギナ、

公民館登録グループ活動紹介 第11回 日本文学を読む会

駒沢 松下泰見

一、会員数及び指導の先生
会員は十四名(男性七名女性七名)で、講師は熊谷英彦先生にお願いしています。

本書の書かれた時代の政治・社会・文化等について幅広く学び、講師の解説を聞き会員の感想を語り合います。

主な活動内容

①古典から現代文学まで学び、会員相互の親睦を深めます。

②平成二十七年より、『徒然草』を講読しています。

三、具体的活動内容

①月一回、原則として第二火曜日の十三時半から十五時までの一時間半学びます。



②講師の先生には、多くの文献から会員の理解が進むよう適切かつ丁寧な「資料」を作成して頂いています。

③講師の通読に続き、全員で声を出して読み、更に輪読することにより、著者(吉田兼好)の高い教養、広い見聞そして深い

④平成二十七年は、三年間かけて学んだ万葉集の

リニアの声

第22回

リニア中央新幹線飯田下伊那の交通網はどう変わる

林里 菅沼秀夫

リニア中央新幹線は開業まで十年をきり、建設工事

もそこかしこで開業にむけ現実化してまいりました。当時余りにも先の事で我々世代は乗るのは難しいのかなと思つたものですが、今では健康を保ちリニアでどこかに出かけたい気持ちで、毎日の励みとなつております。

リニアの中間駅が上郷に建設され、今とは比べものにならないくらい短時間で往来できる、そこばかりがクローズアップされ都会から田舎に人々が容易に訪れると思いがちです。増してや豊丘村は知名度の高い観光地があるわけでもないし難しいと思います。そこで見方を変えてリニ

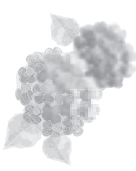
ア中間駅が出来る事により飯田下伊那の交通網はどう変わるのか、その整備される交通網を利用して近隣地方の上伊那、木曾、恵那、中津川、静岡などと交流を活性化する事が喜ばしい事ではないでしょうか!

長野県と伊那地方の地元自治体はリニア開業に当たり交通網整備などを議論しているようです、その一環として飯田線の高速度の実現を図る前段として、特急「あずさ」の同線乗り入れをJR側に要望しようです。実現すれば上伊那地方の方々も飯田線、リニアを乗継ぎ東京や名古屋を短時間で移動出来、時間の使い方の幅

が広がるでしょう。

また中央道座光寺スマートインターがリニア中間駅まで最大幅十一m、延長二・八kmの道路が二〇二一年に供用開始予定です。これも車両で移動する方々にとっては容易にリニア中間駅に到達出来、竜東方面にも車の流れが出来ると思います。かねてより建設中の三遠南信自動車道の飯橋道路は山本ICから喬木富田ICまでが三十一年度には開通予定で矢筈トンネルまで六箇所ICが設けられる予定で山間道使用の地元住民にとって安全、安心な道路となるでしょう。飯田、浜松間開通にはまだ時間を要します。

が、東海圏の人々が短時間で飯田下伊那地方を訪れる大動脈になります。身近な所では宮が瀬橋の架替え、河野から高森下平への橋梁整備、それにともなう松川ICへの容易な接続、上伊那地方への時間短縮道路建設など多くの交通網の整備がこの十年くらいの内に行われます。整備される飯田下伊那地方の交通網を生かし、人々が名産品、観光、産業を求め集まってくる様に、想像力と智慧を働かせ新しい豊丘村づくりを考える必要があると思えます。



シリーズ「元気な高齢者」④ 腹八分の食事管理で病気を知らず

平澤栄治さん 九十二歳 小園在住

現在地の農家で五人きょうだいの長男として大正十

五年に生まれた。父親は出兵先の上海で病気になる、

ふるさと奈良・飛鳥を一日二日で訪ねました。詠まれた歌の現場を歩いて、有意義な研修旅行となりました。

四、会へのお誘い

この会では、講師の助言のもと私達会員相互で、様々な観点から意見交換ができます。「こういう考え方もあるのだ」と理解し合え、有意義な時間を共有できるので、「生涯学習の一つに加える」と考えられる皆様に参加をお待ちしております。

豊橋の陸軍病院で三十三歳の若さで亡くなり、初めての村葬として丁重に弔られた。栄治さんが小学校六年生の時であった。同年齢で、残された母親は近所の人達の協力を受け、農作業を切り盛りしつつ子供五人を育て懸命に働いた。稲田三反歩の他、当時高値であった養蚕を主家業としていた。他に馬を飼育しており、餌用の草刈りを学校から帰宅後の日課としていた。小学校を卒業し、喬木の竜東農産学校で三年間学んだ後、家業を継いだ。しばらくは今までの原資で作業した後、新たに酪農を始めた。消防

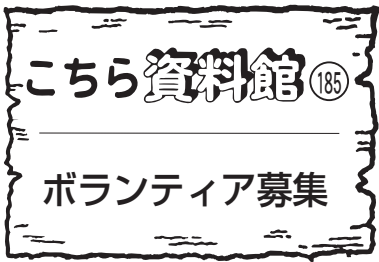
団の仕事とも重なり体への負担が大きくなってきたが、順調に経営を伸ばした。その最中の昭和十九年十二月に徴兵検査を受け甲種合格、有明で訓練中に二週間足らずで終戦となった。

農業に復帰し二十八歳の時、知人の世話により、同じ神稲で三歳下のアヤ子さんと結婚、従来に加えイチゴ栽培も始める等、一層仕事に精を出した。一方で三六災害を機に乳牛を止め仔牛の養育に変換した。

仕事に没頭している最中に周囲から推され、五十歳で区の委員になり、以降二十年間の長きに亘り役員を努め、他に農協監事、森林組合役員、小渋川土地改良区役員など多くの公務をこなした。特に小渋川土地改良区では竜東一貫水路の構築、地域の畑作への転換などの事業に深く尽力した。自身も桑畑から梨畑へ転換し



文責 桐崎 長一



資料館では、一階「考古室」の全面改装をこの八月から行います。工事に入る

- 内容 土器石器・展示ケース等の移動作業。
- 条件 中学生以上、体力に自信のある方。
- 募集人数 十五名程度

前に、現在展示してある史料や展示ケースなどを一時的に移動させなくてはなりません。そこで、以下の要領でお手伝いいただけるボランティアを募集します。

○日時 七月二十九日(日) 午前九時～十二時

○内容 土器石器・展示ケース等の移動作業。

○条件 中学生以上、体力に自信のある方。

○募集人数 十五名程度

○申し込み 電話で公民館(三五―九〇六六)へお願いします。

○締切り 七月十三日(金) 午後九時

なお、中学生は教育委員会と社協が募集する「夏休み中学生ボランティア求人票」を通して応募ください。

さて、写真は、現在の考古室の様子です。展示物がいっぱい、最近新たに発掘された地蔵道三島遺跡等の出土品が展示できない状況です。今回の改装では、豊丘のお宝を中心によりスッキリした分りやすい展示を目指します。

改装された考古室は、十一月十八(日)～二十五(日)まで、公民館の文化祭作品展に合わせて「資料館特別展」として公開する予定です。ご期待ください。

(資料館主任 唐澤武彦)



今から三十何年か前のことである。Y小学校でも例年のように秋の遠足が行われ、先生はその組の全員を連れて張り切って出かけ、楽しいお昼のお弁当も使い、そろそろ家の方へ向った昼

時代、北前船や川の通船が活躍した明治に入ってから、鉄道網が全国に敷設され通商としての船は姿を消していく。今度は内陸部の鉄路が消えることに。新幹線や、やがて出来るリニアは都市間を結ぶだけの手段になり庶民の日常生活には何の関わりもない。

三年程前、広島県の内陸部三次と島根県の出雲郡に接続する江津(二一八・九キロ)までの三江線に乗った。直通列車は朝の一本のみ。前日三次に宿泊して朝五時台の三江線の江津行きに乗車した。国鉄当時の古いディーゼル一両のみのワンマンカー、無論単線。出発してより二つ目の駅で停

車する。この時点で乗客は私一人のみ。すると運転士が私の席まで来て「お客さん、ここで十五分停車しますので宜しく」と伝えにきた。すかさず反対列車と交換ですかと訊ねると「時間調整です。」この後思ってもいなかった返事が返ってきた。「二つ程先の駅から女子高生が三名乗りますので、その為の時間調整です」と。発車までの時間、車外に出て運転士と話しをする中、私は思わず間もなく廃線ですねと言った。乗務員と二人だけで話すなど鉄道旅行で最初で最後かも。もし廃線になったらどうしますか、と訊ねると間もなく定年退職との事。あの時から三年、

何とか生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。



五月二十七日に中学校総合体育大会の南信大会(陸上競技)が行われました。また、六月二日～十日にかけて、中学校総合体育大会の下伊那地区大会(球技)が行われました。結果は以下のとおりです。

南信大会

陸上競技

◇片桐 彩 予選リーグ

女子共通八百m 31位

◇高本 美咲 予選リーグ

女子共通四種競技 惜敗

8位 県大会出場

◇小野寺研斗 予選リーグ

男子二・三年千五百m 39位

◇宮下 莉瑚 予選リーグ

女子二年百m 39位

6位 県大会出場

◇山本 結萌 予選リーグ

女子共通千五百m 32位

◇田島さくら 予選リーグ

女子共通千五百m 35位

個人戦

井原・楠ペア 24位

原・西元ペア 24位

南信大会出場

ソフトテニス女子

団体戦

予選リーグ

豊丘15―87高陵

豊丘31―101鼎

予選L3位 惜敗

バレーボール女子

予選リーグ

豊丘0―2高森

豊丘0―2竜峽

豊丘2―0飯田東

南信出場決め

豊丘2―1高陵

豊丘0―2阿南第一

軟式野球

一回戦

豊丘0―14緑ヶ丘

ソフトテニス男子

団体戦

予選リーグ

豊丘0―3竜東

豊丘0―3緑ヶ丘

豊丘3―0阿智

予選リーグ3位

7位決定トーナメント

豊丘0―2大鹿

卓球男子

団体戦

予選リーグ

豊丘3―1根羽

豊丘1―3下條

豊丘3―2飯田西

豊丘0―3高陵

個人戦

菅沼・毛涯ペア 16位

今井・城下ペア 24位

漆原・武田ペア 24位

南信大会出場

卓球女子

団体戦

予選リーグ

豊丘2―3旭ヶ丘

豊丘3―0遠山

豊丘1―3緑ヶ丘

豊丘3―1阿智

豊丘2―3飯田西

敗退

個人戦

木下・葉優 ベスト9

山崎・美空 ベスト13

南信大会出場

サッカー

予選リーグ

豊丘1―0高陵

豊丘2―3喬木

予選リーグ3位

決勝トーナメント

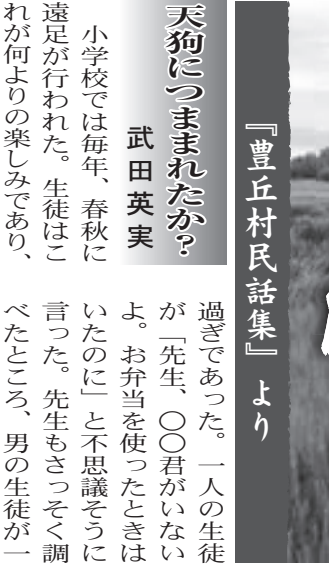
豊丘0―0高森

(PK3―5) 敗退

状況です。今回の改装では、豊丘のお宝を中心によりスッキリした分りやすい展示を目指します。

改装された考古室は、十一月十八(日)～二十五(日)まで、公民館の文化祭作品展に合わせて「資料館特別展」として公開する予定です。ご期待ください。

(資料館主任 唐澤武彦)



『豊丘村民話集』より

天狗につままれたか？ 武田英実

小学校では毎年、春秋に遠足が行われた。生徒はこれが何よりの楽しみであり、やがて大人となっても一生の思い出となり、いつまでも頭の奥に残っている。私も小学校の時の遠足に毎年変わったところ行ったことを、七十余歳になっても覚えてる。

今から三十何年か前のことである。Y小学校でも例年のように秋の遠足が行われ、先生はその組の全員を連れて張り切って出かけ、楽しいお昼のお弁当も使い、そろそろ家の方へ向った昼

もY小学校での遠足で男の子一人が行方不明になったことが報道された。

喬木村大島の佐々木というお爺さん(当時六十歳くらい)は堀越から妻を迎え、山里なのでほとんど年中、炭焼きや山仕事をやっていた。その日も山仕事で大島から萩野、大乗坊を通り栃城へ出、堀越から唐松峠を越えて大鹿の青木へ通る笹坂を一人で登って行った。ふと見るとこのクマザサの生い茂る屋敷が暗い、樅梅の大木の茂った人里離れた山の中に一人の男の子がいるではないか。爺さん、何か狐にやられたような気にもなり、不思議に思い近づいてみると、小学校五年生くらいの子で、六年生くらいの子で、子供はボートとしたように「学校で遠足に行って帰ろうと思っていたが、知らないうちにこんなところ

にきた」と言う。子供は疲れた様子ではあるが、あまりひどくはない様子。爺さん、山仕事なんか放って急ぎ子供の手を引いてY小学校まで届けた。それは遠足の行われた翌日のことである。

学校で遠足に行ったところからは五、六里はある全く人も通らない深山での出来事である。世に天狗につままれるというのを聞いてるが、全く天狗につままれて、この山中へ連れられたのか。

佐々木というお爺さんは人並み以上に真面目な堅い人で、堀越の妻の出た家へ来られた時、わたしたちに語ってくれた話である。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

平成30年度 中学校総合体育大会 結果

五月二十七日に中学校総合体育大会の南信大会(陸上競技)が行われました。また、六月二日～十日にかけて、中学校総合体育大会の下伊那地区大会(球技)が行われました。結果は以下のとおりです。

南信大会

陸上競技

◇片桐 彩 予選リーグ

女子共通八百m 31位

◇高本 美咲 予選リーグ

女子共通四種競技 惜敗

8位 県大会出場

◇小野寺研斗 予選リーグ

男子二・三年千五百m 39位

◇宮下 莉瑚 予選リーグ

女子二年百m 39位

6位 県大会出場

◇山本 結萌 予選リーグ

女子共通千五百m 32位

◇田島さくら 予選リーグ

女子共通千五百m 35位

鉄道全国旅歩き 第10回 廃線の予感

北市場三 山本義彦

半世紀かけて全国の鉄道を走破する中で、当初日本列島の骨格たる外周、つまり本線を征服して内陸部のローカル線は後から回ればと判断したのが大誤算であった。昭和三十年代初頭から旅を始めたので、道路は未舗装、車など殆ど無く山から材木を運ぶ四トントラックか、医院の先生が富豪の道楽者くらいで、自身が自家用車を持てるなど思ってもみなかった。やがて高度成長期に入り高速道路が出来、砂利道は舗装になり、モーターゼーションの波に飲み込まれることに成るのだが、それでも我が家に車らしきものが入ったのは四十年の中頃であった。江戸

時代、北前船や川の通船が活躍した明治に入ってから、鉄道網が全国に敷設され通商としての船は姿を消していく。今度は内陸部の鉄路が消えることに。新幹線や、やがて出来るリニアは都市間を結ぶだけの手段になり庶民の日常生活には何の関わりもない。

三年程前、広島県の内陸部三次と島根県の出雲郡に接続する江津(二一八・九キロ)までの三江線に乗った。直通列車は朝の一本のみ。前日三次に宿泊して朝五時台の三江線の江津行きに乗車した。国鉄当時の古いディーゼル一両のみのワンマンカー、無論単線。出発してより二つ目の駅で停

車する。この時点で乗客は私一人のみ。すると運転士が私の席まで来て「お客さん、ここで十五分停車しますので宜しく」と伝えにきた。すかさず反対列車と交換ですかと訊ねると「時間調整です。」この後思ってもいなかった返事が返ってきた。「二つ程先の駅から女子高生が三名乗りますので、その為の時間調整です」と。発車までの時間、車外に出て運転士と話しをする中、私は思わず間もなく廃線ですねと言った。乗務員と二人だけで話すなど鉄道旅行で最初で最後かも。もし廃線になったらどうしますか、と訊ねると間もなく定年退職との事。あの時から三年、

もY小学校での遠足で男の子一人が行方不明になったことが報道された。

喬木村大島の佐々木というお爺さん(当時六十歳くらい)は堀越から妻を迎え、山里なのでほとんど年中、炭焼きや山仕事をやっていた。その日も山仕事で大島から萩野、大乗坊を通り栃城へ出、堀越から唐松峠を越えて大鹿の青木へ通る笹坂を一人で登って行った。ふと見るとこのクマザサの生い茂る屋敷が暗い、樅梅の大木の茂った人里離れた山の中に一人の男の子がいるではないか。爺さん、何か狐にやられたような気にもなり、不思議に思い近づいてみると、小学校五年生くらいの子で、六年生くらいの子で、子供はボートとしたように「学校で遠足に行って帰ろうと思っていたが、知らないうちにこんなところ

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。

何となく生き延びてきたが、とうとう最期を迎えた。八十八年の歴史と共に、あとも、八岐大蛇(ヤマタノオロチ)のごとく。ちなみに本州ではこの長さのローカル線(飯田線の約半分)の廃線は初との事。地域の足はバスで代行すると聞く。たまたま後回しにしてきた路線なので幸運であった。



三江線の運転士

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.175

ヒメシャガ（アヤメ科）



今月は河野の松下好男さんの庭に咲いているヒメシャガ（四月二十七日撮影）を紹介する。

奥さんの話だと、今から三十五年ぐらい前に、上久堅の実家のお父さんが千代の知人から一万円で購入したイワヒバに付いていたらしく、めずらしい花だと言ったことで、もらってきて増やしたのだと言った。十人近くの人に分けてやったが、「育った」とは聞いていないと言った。我が家には別種のシャガはあるのだが、こちらは増えすぎて困っていると言った。



きつかけは五年ほど前に近くの畑を借りて、鼎にあった数本の苗木を持ち寄って始めた。今では一五〇種類ほどにまで増えているのだそうだが、仕事を抱えているため休日などのんびりしたことがない。栽培はすべて自己流、本から学んだり見よう見まねで他の花園を見る余裕もないほど忙しい。華やかな裏には相当な苦労もあるのだらうと思うが、他人からするととても楽しみなバラ園なのだ。喜ぶ人の笑顔を想像し、また頑張ろうとする意欲を来年もお願いしたいです。

写真と文／宮下正弘



入賞者（敬称略）

優勝	筒井 卓徳
準優勝	寺沢 宜勝
三位	山口 英夫
四位	木下 進
五位	三島 直樹
六位	平永 稔
七位	竹村 浩一
八位	新井 俊之
九位	片桐 広美
十位	代田 義也



特別賞（女性一位）
福澤 恵

今年はそれを上回る百五十二名にご参加いただき、盛大に大会を開催することができました。特に、若い方々や企業からのご参加が増えたことで、大会の更なる盛り上がりを感じることができました。また当日は、雨の予報から一転して晴天に恵まれたことで、参加者の皆さんも気持ちよくプレーできたのではないかと感じました。ゴルフの技術向上はもちろん、参加者同士の交流の場としても大切な大会ですので、来年はさらに

多くの方々にご参加いただきたいと切に願っております。



大会長から優勝カップを受ける筒井さん（右）。



第14記
豪華な六月のバラ庭園



上沼さんのローズ・ガーデン

俳句 短歌

初蝶の横切る枝の息使い
臆月晴肺蒼きまで木曾めぐり
連れ立ちて久に語らふ若葉風
ほととぎす鳴くや朝げの馳走とす
青々と山里の中鯉幟
バスに揺れ若葉の谷に酔いしれぬ
花桃のはなやかよそに友送る
花摘みの雨の休みに五平餅
菊根分元気を分けてもらひけり
親王のお心いかに若葉冷
斑雪嶺の腹を抜けるかりニア道
宗良の親王御座所木の芽張る
山吹の枝垂る馬耳の九輪塔
肩書のひとつもなくて蕨折る

磯部セツ子
田中 静
片桐 洋子
森田 恵子
三島 保子
下平 玲子
三島 里子
木下 眞水
松岡 照子
宮下 公
宮下 純子
丸山 時子
林 恵美子
北原 昭子

〔短歌会 夢あるて〕
縁側に座りて眺む亡き父の姿想うや石楠花の咲く 福澤貴美恵
田に水が入ればたちまち集まりて蛙の楽隊歌いはじめる 大原真由美
煮物するわれの後ろに椅子運び「みたいみたい」と幼な子二人 筒井 恵子
みどりの日もらしい苗の石楠花は十余年たち今盛りなり 松尾ヒサコ
母逝きて五月のよき日納骨す亡父と出会いて何を語らん 松下 泰見

〔あしたば短歌会〕
山間の道を通れば雉の雄前を横切りわれを見送る 壬生 千春
傷りんごシナモン入れて煮詰めれば優しい味のスイーツとなる 大倉 知江
春の宵値千金と言うけれど白白長き夜を持て余す 北澤 秀子
幼らと遊び疲れて夕迫るふと良寛様を思い浮かべり 毛涯百合子
幾年も使用へる保証なきままにアプリ数多のスマホに替へる 福澤 亀人

〔豊丘川柳クラブ豊柳会〕

▼課題「流」 福沢勝美 選

流水に逆らうような頑固者 久保ひろし
今日の幸流した汗の重さだけ 林 桃子
流星に願いを託し拉致問題 市沢 照子
軸吟…世の流れさからわぬのが生き上手

▼課題「義」 互 選

救われた恩義決して忘れない 桃沢 健介
義に燃えて入省するも道外す 山本 義彦
一党の独裁嘆く民主主義 原 美風
▼自由吟 桃沢健介 選
種袋振れば命の音がする 西元 峯子
春の風舞った帽子に追い付けず 安田 喜子
会談を独り見守る蚊帳の外 福沢 勝美

川柳

軸吟…ミエミエの嘘が疑惑をふくらます